

**製品名: SRC3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86269**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:100,FC 1:100-1:500
分子量	Calculated MW:155 kDa; Observed MW:160 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SRC3
別名	ACTR; AIB1; RAC3; SRC3; pCIP; AIB-1; CTG26; SRC-3; CAGH16; KAT13B; TNRC14; TNRC16; TRAM-1; bHLHe42
遺伝子 ID	8202
SwissProt ID	Q9Y6Q9
免疫原	ヒト SRC3 の合成ペプチド

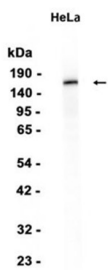
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、核内受容体コアクチベーターであり、核内ホルモン受容体と相互作用して転写活性化機能を増強します。コードされるタンパク質はヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性を有し、多サブユニット共活性化複合体の一部として p300/CBP 関連因子および CREB 結合タンパク質をリクルートします。このタンパク質は当初細胞質に存在しますが、リン酸化されると核に移行します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されています。さらに、コードされるタンパク質の C 末端には多型性反復領域が存在します。[RefSeq 提供、2010 年 3 月]

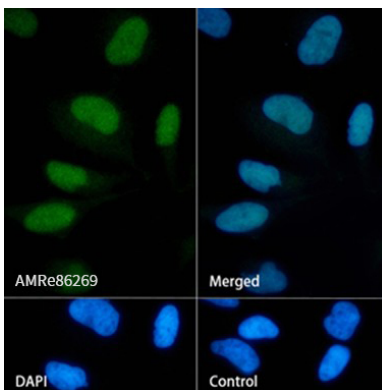
## 研究分野

-

## 画像データ



SRC3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86269 で SRC3 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。